

平成20年度 県立広島大学公開講座

近代文学の魅力ー異界を読むー

「異界」とは現実とは異なる別世界で、例えば亡霊や鬼の住む世界というイメージがあります。そんな異界に私たちは怖いけれども惹きつけられる不思議な力を感じます。

二人の若い紳士が山奥のレストランで危うく命を奪われそうになる「注文の多い料理店」という童話、旅に出た若い僧侶が山道に迷い込み、妖しい美女と出会う「高野聖」の話、山の少女が入水し、小さな魚（フナ）に変身する「魚服記」の話などを読んで、異界をひととき訪れてみましょう。

■日 時：平成20年10月17日・10月31日・11月14日・28日（金曜日・隔週）
10：40～12：10

■会 場：県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東1-1-71）

■講 師：人間文化学部国際文化学科教授 坂根俊英

■内 容：

回	月 日	テーマ
1	10月17日	食の問題を考える 一宮沢賢治「注文の多い料理店」探訪ー
2	10月31日	山中の異界 一泉鏡花の「高野聖」を歩くー
3	11月14日	入水する少女 一太宰治の「魚服記」を読むー
4	11月28日	辺境への旅 一井伏鱒二の「へんろう宿」に泊まるー

■受講料：3,000円

■募集人数：50人程度

■対 象：どなたでも

■申込方法：①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号、⑥近代文学講座受講希望を記入した用紙（様式自由）と、⑦80円切手を貼った返信用封筒（申込者の宛先記入）を、平成20年8月1日（金）～9月30日（火）（消印有効）の期間に、次の宛先に郵送してください。9月下旬に受講料振込書と受講案内をお送りします。なお、振り込まれた受講料はお返しできませんので、ご注意ください。

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71
県立広島大学地域連携センター「近代文学講座」係
TEL 082-251-9534

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

■主 催：県立広島大学地域連携センター

■同時開催：講座期間中、図書館2階中央ホールで、講座の内容にあわせた企画展を開催します。

■お 願 い：学内には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

● ● 各回の概要 ● ●

第1回

食の問題を考える 一宮沢賢治「注文の多い料理店」探訪一

宮沢賢治のこの童話は人が食べられそうになる恐ろしい話である。

言葉の持つ多義性を存分に活用して、ユーモア感覚と痛烈な諷刺を存分に発揮したこの作品は、面白く読んだ後に、熟考すれば深い反省を人間に迫る怖い話でもある。

セレブに惹かれる貴族志向がはらむ俗物性を批判し、食の問題に鋭く迫るこの童話を読み解いて、不思議なレストラン体験を味わってみよう。

第2回

山中の異界 一泉鏡花の「高野聖」を歩く一

ある若き僧が、山中で道に迷い、蛇や山蛭に苦しめられながら、やっと一軒家にたどり着く。そこで若い美女に会い、一夜の宿を借りるが、その夜、不思議なことが起こるとい話である。泉鏡花の怪異な魅力を満載したこの作品は、特にその水浴の場面においてこの世ならぬ美しさを漂わせている。だが、夜になると一転して恐ろしく無気味な雰囲気醸し出す。この山中の異界へひととき迷い込んでみよう。

第3回

入水する少女 一太宰治の「魚服記」を読む一

「魚服記」は本州の北端の山中を舞台として、父と二人で生活するスワという少女の物語である。義経伝説や三郎八郎伝説を背景として展開するこの作品は、柳田国男の「山の人生」の影響を受けているとも言われ、フォークロア（説話）的魅力に富んでいる。

結末にはヒロインの二度の入水も用意され、太宰の「水」への傾斜もうかがわれる興味深い作品である。

第4回

辺境への旅 一井伏鱒二の「へんろう宿」に泊まる一

「へんろう宿」とは、四国のお遍路さんが泊まる宿のことである。

遍路岬という所にある一軒の宿屋に泊まった主人公が、そこのお婆さんから不思議な話を聞くという小説である。

何気ない日常の中に、それとは異なる非日常の世界が顔をのぞかせるような奇妙な味わいの辺境への旅へ出かけてみよう。